

## 2020年5月18日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

-世界新秩序に関するアップデート-

<https://youtu.be/PJPrt62u788>

まずは、このニュースから始めます。ほんの数時間前、さらなるイスラエル機がシリア・イラク国境を攻撃、イランの民兵7人をイマーム・アリで殺害しました。アルブカマルの街の隣りです。先週もお話しましたが、地図でお見せしましたね。数日前、私たちは72周年を祝いました。基本的に、西暦でのイスラエル独立宣言記念日です。この日、トルーマン大統領がイスラエル新生国家への支援を誓いました。その話は後ほどしますが、あの動きに対して、彼の国内で起きた反対を、きっと皆さん信じないでしょうから。同じ日に、フランスコ教皇はイスラム教徒、ユダヤ人、ヒンズー教徒、シーク教徒、すべての宗教が一丸となって祈るための集会を開催していました。実際、皆さんにお見せします。「"人類の兄弟愛のための高等委員会"からの提案を受け入れ、祈りと断食と愛のわざの日とすることにしました」あれを全部見てごらんください。間違いなく、未来の世界統一宗教に見えるものの指導者です。「新型コロナウイルスのパンデミック収束のために…すべての宗教の信者全体が5月14日にともに祈り…」私達はそれを見て、そして、もちろん、それが行われました。それは、今回のアップデートのトピックである「新世界秩序」の霊に明確に繋がります。皆さん、説明させてください、他にもいろいろなことがあったのです。それから今回の話題に移ります。しかし、すべてが本当につながっています。そして、皆さんには知っておいていただきたいこと、一つだけ持ち帰ってほしいことがあるとすれば、世界中で起きていることは、基本的には神の真理と敵の嘘との間の争いであるという事実です。そして、信者である私たちは、「どちらが何であるか」に注意を払わない傾向が強いのです。私たちは、自分の感情や間違った情報に振り回されやすいですから。だからこそ、とても慎重にならなければなりません。前回もお伝えしましたが、敵は双方にエサを与えて、周りの混沌を見て楽しんでます。ひとつ、例を挙げてみます。シカゴ市長のライトフット市長は、現在、ネット上のいたる所で、まるでマスク着用やパンデミックについて、新世界秩序に忠誠を誓ったかのように話題になっています。さて、一つ言っておきます。彼女は新世界秩序には言及していましたが、COVID-19については触れていません。インタビューはそのずっと前の、2019年3月のものです。彼女は、彼女自身の市の自治体の法案について語り、でも彼女は「新世界秩序」を使ったのです。実際、それを再生してみます。彼女が言った事を理解出来るでしょう。彼女が言ったことを聞いてみてください。

[ライトフット市長]: 「確かに計画しています。そして、新世界秩序と統治に忠誠を誓っている人々を、それらの機関を運営する代議員に選びます。それから、私が思うに、実地監査を行い真に順守しているかを確認する、監察官を置きます」

彼女は、コロナウイルスについて話していません。彼女はマスクの着用についてすら、話していません。彼女が話しているのは、法律でも実際のルールでもない「市会議員特権」の事で、それが彼女の街では法律やルールになっていたのです。そして彼女は「このままではいけない」と言っています。彼女は、新世界秩序に言及していたか？ 確実です。それが何を意味するか、彼女は知っているのか？ よくわかりませんが、彼女はそれを口にしました。ちなみに、彼女はそれをしたから、1年~1年2ヶ月前、当選するずっと前に、当選した後も、ほぼ同じ言葉を使って、別の演説をしたのです。パンデミックとは関係ありません。しかし彼女はそれを利用しました。さて、何が起きたか見てみましょう。「Facebookは、『新世界秩序』を支持するシカゴ市長の本物の動画を『偽の事実』チェックで援護」さて、面白くないですか？ Facebookによると、彼女はそんなことは言っていないとのことですが、動画があります。彼女はそう言っています。基本的に何が起きているかということ、人は二つのものを混ぜ合わせています。彼女は別のことを言っていました。ネットでは、彼女がまるでパンデミックのことを言ったかのように見せました。そして、そのすべてが混然一体となって、Facebookがすべてを偽物として隠蔽するための、ある種の空気を作り出したのです。そして

今、Facebookは、文字通り、皆さんが見聞きしているものすべてを検閲しています。これも、もう一つの新世界秩序の兆候です。もはや、自分の好きなものを選ぶという選択肢はないのです。今は、誰かが、あなたのために決めています。

実は今朝、息子のエラドを学校に送って行きました。2ヶ月半ぶりの登校日です。そして、末っ子エイロンも学校へ連れて行きました。こんにちでは、学校に子供を送るのに、何か用紙やアプリの同意書に記入しなければなりません。そして基本的に同意し、子供には発熱や他の症状も何もなく、病気ではないことを宣言しなければならないのです。皆さん、私は思うのです。自分の子どもを学校に連れて行くのに、ここで自分の名前を書いて、何か宣言しないといけないのです。そして、紙面上で、オンラインで、何かにコミットしなければならないのです。今はどこに行っても名前を聞かれたり、名前を記入させられます。信じられない事が起こっています。新世界秩序…新世界秩序が何を意味するのか、もうしばらくしたら、お話ししましょう。

もう一つ、皆さんにお伝えしますが、イスラエルは、昨日の時点で安定した政府、暫定政府不在の507日を経て、ついに政府が誕生しました。選挙が3回行われ、それぞれの間に待ち時間があったため、1年半近くの混沌とした日々がようやく終わりを迎えて、統一政府ができました。ネタニヤフ首相は、最初の1年半の政権運営の舵取りをし、ベニー・ガンツ中将は、この2期目の1年半を指揮することになります。そして、最後の1年間は、恐らく彼らの間で交代するでしょう。動向を見て行きましょう。一つだけ確かなことがあります。ネタニヤフを憎む人々には大打撃です。ネタニヤフを刑務所送りにし、追い出そうとしていた者達、絶対に、再び総理大臣にはなれないと約束していた人々には。それまでです。ベンジャミン・ネタニヤフが次の総理大臣です。彼はすでに活動中であり、またイスラエルの公式首相です。これは大きな政府です。70人の連立メンバーの中から、全員をなだめるようにしています。しかし、私が言いたいのは、コロナウイルスとは別に、一つ我々が対処しなければならないことがあるとすれば、それはヨルダン渓谷、死海の北部、ヨルダン川西岸のイスラエル入植地の併合という次の動きです。そして、皆さんにお伝えしたいことがあります。私は、ヨルダン国王が「両国の関係を悪化させる」と言っていたのを聞いて、ショックを受けました。ヨーロッパは現在、イスラエルに制裁を課すと言って、脅しています。そしてグローバリストの秘密兵器は、国際刑事裁判所（ICC）です。すると、アメリカは即座に宣言を出し、ポンペオ長官はICC（国際刑事裁判所）に向かってこう言いました。「あなた方が、ヨルダン川西岸地区におけるイスラエルの存在について、何らかの裁判や起訴で違法性を押し進めるなら、我々は、基本的にそれを許さないとすべし」ですから皆さん、理解してください。ここでは非常に多くの欺瞞きまんが起こっています。さて、なぜ私は、この全てをお伝えしているのでしょうか？それは、皆さんに理解していただくことが、とびきり重要だからです。なぜ、この全てを言及しているのかと言うと、これがまさに2000年に、失礼しました…1948年にトルーマン大統領の身に起こった事だからです。1948年、ハリー・トルーマン大統領は、ジョージ・マーシャルを国務長官に任命し、そして彼は、国連にも使節団を置いていましたし、中東にも使節団を置いていましたが、その全員が、強く、強硬に反対したのです。彼らは、イスラエル国家の樹立に強く反対、強く反対し、アメリカ大統領としてのトルーマン大統領は、自国民と戦わなければなりません。そして、彼は、彼らが密かに裏で活動していることを知ったのです。他の取引を推進して、独立宣言と新生国家での、アメリカの認知を押し進めている事を。私は、彼の回想録から読んでみます。彼は言っています。「今朝、国務省が私のパレスチナ政策を逆転させた事が分かった」覚えておいてください。イスラエルはまだ、『イスラエル』とは呼ばれていませんでした。それまでは、まだ”パレスチナ”と呼ばれていました。そして、独立時に、ベン・グリオンが呼称を『イスラエル』に戻したのです。そして彼は言っています。「最初、私は新聞で見つけた。それって地獄じゃないか？私は今や、嘘つきと裏切り者の立場になっている。こんな思いをしたのは、今までの人生で初めてだ。国務省の第三、第四階層には、常に私の喉を切り裂きたいと思っている人たちがいて、彼らはそれに成功している」しかし、皆さん、米大統領がイスラエル国家の樹立に関して、彼自身の国務省の深層国家について書いたことを理解してください。そして興味深いことに、彼ら在必死に押し進めて、それが起こった日に、何が起こったのかをご覧ください。そして、彼らは専門家、さらにエルサレムのヘブライ大学の元学長まで連れて来ました。彼は平和主義者ユダ・マグナス、アメリカ生まれで、ヘブル大学の元学長です。彼は「パレスチナにおけるユダヤ人の戦争マシンを止めなければならない」と言いました。さらに彼が提案したのは、ユダヤ人は、テルアビブからハイファまでの海岸線沿いの一帯だけで、それ以上のものを持つべきではない。つまり、本当に恐ろしい人々です。そして、トルーマン大統領は動じませんでした。そして、言うておきますが…読んでいます。「午後6時11分、ホワイトハウスのチャーリー・ロス報道官が、大統領によるイスラエル国家の事実上の承認を発表したとき、国連の米国代表団は啞然とした。そして、『パ

ンデモニウム』という言葉を使う時、誰かが言うように誇張しているのではない」皆さん、聖書的な事、真実が打ち鳴らす事、敬虔な事を行い、そしてイスラエルを国家として認めるためには、彼自身の深層国家までも敵に回す、強くて毅然とした大統領が必要でした。そしてその時、詩篇83篇が成就し、全アラブ諸国が我々に敵対して来たのです。

**さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないようにしましょう。（詩篇83:4）**

我々は、まさに”パレスチナ”から”イスラエル”に名前を変えたばかりでした。そして、彼らはイスラエルの名を消し去ろうとしたのです。これを見るのは非常に重要です。なぜなら、あれが48年で、文字通り70年後の2018年、皆さん。ドナルド・トランプ大統領は、すべての集会で言っています。すべての世界の指導者が、彼に電話をかけるか、もしくは電話をしようとして、そして、エルサレムをイスラエルの首都として承認したり、大使館を移動したりしないように彼を説得しようとしてしました。そして彼は、「忙しいので、またあとで折り返します。忙しいから、あとで連絡します」と言って、そして彼は、それをやった後に、彼らに電話をかけ直したのです。その圧力たるや、凄まじかったのです。このような正しい判断は、非常に強く、弾力のある一世代の大統領でなければ出来ません。さて、ここからが本題です。その後、トランプ大統領は、ものすごい事を行いました。彼はゴラン高原をイスラエルのものだと認め、西岸のユダヤ人入植地の合法性を認め、イランとの合意を破棄して、ヨルダン渓谷や、それらの場所でのイスラエルの権利を認めました。ごらんなさい。彼は、我々が期待した以上の事、頼んだ以上の事をしてくれました。そして今回、最後の段階として、先祖代々の祖国の一部を併合することになります。イスラエルにはこの1年半、政府がなかったのでできませんでした。でも、今はあります。そして今、首相は、我々がそれを行うつもりであることを非常に明確にしました。デイビッド・フリードマン駐イスラエル米国大使は、こう言いました。

「良いですか、2週間後には実現するでしょう。パレスチナ人がやり方を変えるのを待っているわけにはいかないから」

先週、言ったことを覚えていますか？彼らはカナダ人にはなれないのです。そして、皆さんにお伝えしたいことは、数日前にポンペオ長官がイスラエルに来ていてネタニヤフ首相は、彼とそれについて話していました。そして、アメリカを代表して、イスラエルのこの併合に暗黙の了解をしました。そして今、ICC(国際刑事裁判所)や、EU(欧州連合)、ヨルダンなど、皆が脅かされています。まさに、敵がトルーマン大統領にしたのと同じ事を、今、敵はトランプ大統領に対してしようとしています。しかし、私たちは揺らいだり、恐れるわけにはいかないのです。正しいことをしなければなりません。ごらんなさい。聖書には、この土地が誰のものであるか、明確に書かれています。聖書は、エルサレムが誰のものであるかを非常に明確にしています。聖書は、その土地の本来の、そして法的な名前が「イスラエル」であることを非常に明確にしています。とてもシンプルです。そして、皆さんにお伝えしたいのは、今朝、私が見たレバノンからの動画は、朝のテレビ番組で、レバノン人の作家が言っていました。「私たちはイスラエルを殺そうとし、イスラエルを破壊し、イスラエルと戦おうとするが、しかしレバノンのGDPは一人あたり360ドル、イスラエル人が3600ドル、10倍だ。私たちは、彼らから学ばなければならない。人間の尊厳とは、土地のことではない。それは、家族を養うためにどれだけ稼ぐかだ。」彼らは、言います。「我々は、間違った人たちを滅ぼそうとしている。我々は、この人たちから学べる。彼らは素晴らしい」—レバノン人ですよ！そしてテレビの女性司会者は…それを聞いた彼女は、心臓発作を起こしそうになっていました。そして、これは今に始まったことではなく、サウジアラビアからもオマーンからも、カタールからも、アラブ首長国連邦からも、出てくるのを見てきました。私は唖然としましたよ。皆さん、サウジの作家や歴史家、詩人が次々と出てきて、ある意味”衝撃告白”をして、いくつかのことを認めているのです。まず、パレスチナ人が問題であることを認めています。第二に、パレスチナ問題は、すべて実際に、イスラエルを根絶するための”発明”であったことを認めました。第三に、彼らはエルサレムがイスラム圏ではないことを認めています。彼らは言います。「ほら、アル・アクサは、実はメディナとメッカの次なんだよ。だからこそ、エルサレムは、コーランの中で一度も言及されていないんだ！全てが間違っている！」彼らは政治的利益を得るために、間違ったことをしたのです。つまり、エルサレムはユダヤ人のものです。お聞きください。テレビでサウジのイスラム教徒から聞いた話です。さて、変化は、上から…つまり、国営メディアからではありません。どこから変化しているか、お分かりですか？草の根から、ソーシャルメディアから来ています。ほら、我々は今、あなたも私もSNSをやっています。これはソーシャルメディアであり、テレビ局ではありません。今の私の発言を、許可するTV局はないでしょう。真実を求める人は、少なくとも、今まではソーシャルメディアで真実を見つけることができました。今、多くの真実が暴露され、多くの人がここで起こっていることに目が開かれています。

では、なぜ私は、もうすでに新世界秩序の中にいると思うのでしょうか？皆さん、とても大切なことを理解しなければなりません。「新世界秩序」とは何か？分析してみましょう。新世界秩序は、世界に関係しています。世界の進み方、秩序、それを新しいものに変えようとする。私は、聖書のことを考えようとしています。私にとって、他のことはどうでも良いのです。ですから聖書に戻ると、人類は最初から新世界秩序を好んで来ました。つまり、仮に神が彼らの為にすべてを完璧に創造されたのなら、そして神は、そうされました。すべてがとびきり完璧だったので。そして神はこう言われました。「みんな。この動物たちはあなたがたの言うことを聞くだろう」「これらの木は、あなたがたのために実を結びます」「すべては、あなたがたのもです」「支配せよ」「土地を相続しなさい。それはあなたがたのもです」神は、彼らに祝福と種と土地を与えられました。そして、たった一つだけ、「触ってはならない」と言われ、彼らは、それを欲しがりました。新世界秩序を。彼らは、唯一、触ってはいけないものを欲しがりました。なぜなら、神はそれを素晴らしいと言われ、神が創造されたすべてのものが素晴らしい。しかし、我々は何か新しいものが欲しい。蛇、サタンがとても狡猾な方法で持ち込んだのを覚えていますね。「ほら、そんなこと聞かなくてもいいんだ。

### あなたがたは決して死にません。実際、それを食べるそのとき、目が開かれて、… (創世記3:4-5)

「実際…」例えていうなら「あなたは光を見る。光が見えないのは、この果物を試していないからだよ。この果物を試さないか？光を見たいだろう？目を見開いて、賢くなりたいかい？食べなさい」皆さんにお伝えしたいのは、その瞬間から罪が世界に入り込みました。それでも世界は、多かれ少なかれ、国、国境、言語の秩序で動いています。それは誰もが知っていることです。私はいつも、パウロがアテネの人々に教えたことを思い出します。とても、とても頭のいい人たちです。使徒の働きの中では、アテネのど真ん中で、パウロは彼らにこう伝えています。彼は17章26節でこう言っています。

**「神は、一人の人からあらゆる民を造り出して、地の全面に住まわせ、」…それから、彼の言った事を見てください。「…それぞれに決められた時代と、住まいの境をお定めになりました。」**

つまり、神は境界線、人、言語、民族、すべてを定められたのです。さて、新世界秩序とは何でしょう？新世界秩序とは、とても、とてもシンプルなものです。聞いてください。政府はいらない。国籍はいらない。国境はいらない。国旗はいらない。通貨が違くと困る。違う宗教はいらない。非常に面白いですね。新世界秩序は、政治家ではない新しいリーダーシップ、より賢明なリーダーシップをもたらすための競争です。彼らは光を見たのです。彼らはよく知っています。実業家や銀行員の小さなグループで、基本的には彼らが世界を支配し、そして、彼らのために、それをやってくれる人がいるのです。

「国境、言語、異なるお金、異なる宗教は、もはや存在しない。国境を廃止しなければならない。不法入国は、もはや違法と見なされない。国境はもはや、もう重要ではない。それを実行してみよう。国境には何の意味もないことを教えてあげよう。」

そして面白い事に、彼らが、何度も何度も試したのを皆さん見てきました。彼らは何度も何度も試しました。ほとんどの世代が何かを試みています。もろもろの戦争が起こり、それから世界大戦、気候変動、そして宗教的なものが出てきました。それから安全保障、テロ行為、恐ろしいことが世界に降りかかりました。それなのに、何一つとして、世界が一つになって行動する結果にはなりません。ここ2~3ヶ月で起きた事によって、2つのことに到達しました。一つは、初めて地球全体が1つになりました。私の問題は、ルワンダの問題で、インドの問題で、サウジアラビアの問題で、インドネシアの問題で、カナダの問題で、フィリピンと日本の問題です。私の問題も同じです。以前は別の問題を抱えていました。昔はパレスチナ人と戦争をしていたり、これと戦争したり、あれと戦争したりしていました。もう、そんなことはありません。今の私の問題は、彼らの問題です。ここで初めて、国境は何の役にも立たない、世界的な問題を抱えています。初めて、選挙で選ばれたのではない団体が、彼らは、私や、彼らの国民が投票で選んだものではありません。それが勧告しているのです。つまり、世界保健機関の話です。世界中の政府が、そのリズムに合わせて踊っています。ごらんください。彼らの毎日のアップデートを見てきました。何十万人、何百万人とは言わないまでも、どれだけの人が見ているか知っていますか？

さて、皆さんと私は、聖書の預言に従事しています。私たちは、聖書研究に従事しています。ですから私達は、その全てを見抜くことができます。しかし私たちは、かなり少数派です。理解してください。世界は、画面に釘付けになっています。世界は、世界保健機関に手懐けられています。彼らが言ったことはすべて、シナイから人々に与えられた律法として受け取られています。説明させてください。皆さん、それでも足りなければ、世界保健機関が言っていることが、すべて真実でなければならぬだけでなく、グーグルやフェイスブック、ツイッターなどの大手ハイテク企業も、今では、他の意見を聞くことさえできないように、検閲を行っています。彼らが信じている事は、すべて、皆さんは知るべきではなく、選挙で選ばれたのではない、その国際機関の筋書きに添わないものは、皆さんに届きません。今や、検閲委員会に人を連れて来るまでになりました。そして、彼らが連れて来る人々は皆、グローバリズムのアジェンダに属しています。宗教や思想は異なりますが、みんなグローバリストのアジェンダに属しています。考えてみると、恐ろしいです。彼らは今、AI（人工知能）を使用しています。頭のいい人は、単純なロボットや、バカなコンピューターを作りました。今は、バカなのは民衆です。コンピューターはスマートになりますが、愚かな人間を生み出しています。それらは、あなたの考えや考え方を学び、そして提供します。そしていつの間にか、あなたは、彼らのリズムに合わせて踊るのです。どうしてでしょう？全ては生存競争の名の下に。「生き残るためには、これに従え」と彼らはあなたに言います。「生き残るためには、これをしなければならぬ。生き残るためには、これをしなければならぬ。」驚愕です。ほら、こんなの見たことないですよ。私はずっと、新世界秩序の話をしてきました。イルミナティやグローバリスト、統一世界について、私は何年も話してきました。ネットで検索してみてください。しかし、「新世界秩序」という言葉を使った記事が、これほど氾濫しているのを見たことがありません。お見せしましょうか。さて、これはその1つです。ごめんなさい。これじゃないですね。私が言っているのは…え〜と、これは、はい、これです。「コロナウイルスのバタフライ効果——新世界秩序のための6つの予測」よし、皆さん、続けましょう。まだあります。「新世界秩序は誰が作るのか？」まだまだあります。「EUは新世界秩序を形成するために、同盟を拡大しなければならぬ」今やりましょう。ここには何て書いてあるのかな？もう一つの方を消しましょう。「現実を直視しよう。新世界秩序の到来だ」もうすでに認知されているのです。そして、もう一つ、彼らが言うのはこれです。皆さん、これを見てください。そして、これを外して、…これを見てもらえればわかると思います。「コロナウイルス：新世界秩序の勝者と敗者は誰になるのか？」それでも足りないなら、もう1つ。はっきりと見えます。「COVID-19は新世界秩序を書いている」それで足りなければ、皆さん、「バンク・オブ・アメリカの新世界秩序：政府の大型化、技術戦争、プライバシーの減少、そして、"新たな富：健康"」それでも足りなければ、皆さん、心配しないでください、たくさんあります。「新世界秩序の生き残り方」というのがありますが、それはアフリカです。これを見てください。「COVID-19は新世界秩序をどのように形成したのか？」それでも足りなければ、これがあります。これは、私が間違っていなければ、インドのものです。「COVID-19を阻止するために今すぐ新世界秩序を発明しなければならぬ」皆さん、これでも物足りないと思うなら、ドル紙幣の裏をみてください。「アニュイティ・コープティス」と書いてありますが、その話をします。「事業の成功」そして、その下には「NOVUSORDOSECLORUM」とあります。ノバス・オールド・セクラルム世代の新秩序、基本的には新世界秩序です。未完成のピラミッドが見えますね、13層です。このエリート、グローバルエリートを支配する、13の家族があります。「すべてを見通す眼」が、最も、最上級にあります。新世界秩序をもたらすための働きは、新しい取り組みではありません。ずっと長く続いている働きです。繰り返しますが、創世記を見て、創世記3章以降を見れば、人類はいったん罪が世界に入り、その反逆の霊が世界に入り、彼らは神の命令を望んでいないことがわかります。だから、彼らはすべてを変えるのです。彼らは家族の定義、性別の定義、国境の定義、国籍の定義、言語の定義、宗教の定義を変えるでしょう。彼らはすべてを変えるでしょう。新世界秩序では、もし彼らがあなたを完全に支配したいなら、彼らは一つの世界政府の下ですべてを支配しなければならぬからです。世界統一宗教を持ち、どうにかして経済を固めて、世界統一経済にしなければならぬのです。そして、「我々は"新世界秩序"に入った」と、私が言う理由は非常にシンプルです。良いですか、我々はまだ世界統一経済ではないし、まだ、世界統一宗教もないかもしれませんが、そこに行くのです。つまり、フランシスコ教皇は全ての宗教のホストになりつつあるのに、イエスの話すらしません。フランシスコ教皇は、イエスを彼らに伝えていません。彼らは救いの話も、贖いの話もしていません。手をつないで一緒に祈って、クンバヤ、「WeAretheWorld」、それだけです。しかし、皆さんにお伝えしたいのは、新世界秩序はすでにここにあるということです。すべての政府はヨーロッパの中央委員会からの命令に、彼らの国民全員を喜んで差し出したのです。皆さんに言うておきますが、2020年が始まる前にあったものは、もう二度と戻ってきません。

さて次は、非常に・・・今から私が言うことで、面倒なことになるのはわかっていますし、中には私の言うことに、ものすごく怒る人もいるでしょう。でも、言います。彼らは、予防接種をめぐる争いを見て楽しんでます。彼らが何をしているか、ご存知でしょうか？彼らが言っている事を、見てください。彼らは言います。

「ほら、新世界秩序があって、新しい現実があって、我々はこのウイルスを蔓延させるワケにはいかない。ウイルスはまだ残っているから、予防接種を受けなければ、飛行機に乗れず、他の国に行くこともできない」

ちなみに、予防接種なのか、検査なのかは不明ですが。なぜなら、仮に私に抗体があれば、私はコロナウイルスを持っていて免疫があるという事だから、予防接種は必要ありません。しかし、皆さんに理解していただきたいのですが、敵は非常に頭がいいのです。敵はクリスチャンの考え方も知っています。そして敵は、何十万人ものクリスチャンを説得するでしょう。「おい、この予防接種を受けるなよ。獣の印に一步近づくようなものだからな。それから、新しい波が来ると、本当に役には立たない」一方で、予防接種を推進している人たちがいて、彼らは必ずしも、皆さんの益になるからそれを推すのではありません。金儲けのためです。ごらんください。金儲けが目的ですから、彼らは、お金が入る限りあなたを殺しません。ファウチとかその他は、ただ、あなたによって金儲けをしようとしているのです。私は、その上にいる本当の悪人たちは、両方を楽しんでいると思います。予防接種を推し進め、そして予防接種に関する嘘について国民を煽る。さて、ここで説明させていただきます。どうか、冷静になって心を開いてください。ワクチン接種を義務化すべきか？今はアメリカの話ではありません。イスラエル軍では、予防接種が義務化されている話をしましょう。良いですね？イスラエルは、一度予防接種があることを発見したなら、我々は、イスラエルの潜水艦、イスラエルの海軍の船、イスラエルの空港でコロナウイルスが高速で拡散することを望んでいません。兵士の準備態勢を崩したくはありません。もし予防接種があるなら、軍は、明らかに全兵士に対してワクチン接種を実行するでしょう。兵士が、「ノー」と言えると思いますか？もちろん、そんなことはありません。イスラエルは自国民を憎んでいて、イスラエルは軍隊の人口を減らす為に行うのか？いいえ。その予防接種は・・・ほら、私の娘がケニアにボランティアに行った時、彼女は、アフリカにまだ存在する特定の病気に対する、予防接種を受ける必要がありました。私は、それに対して迷いもしませんでした。マラリアやエボラ、その他の予防接種が必要なのはわかっていますから。ここではそういった病気は無いので、予防接種は必要なくて、私達は受けていません。皆さん、理解する必要があります。すべての予防接種が悪の陰謀ではありません。こんにちの予防接種は、特定の病気を避けるための方法です。次に、そうです、金儲けです。そう、製薬会社は何兆も儲けています。そう、時々本当に必要のないところに、予防接種を推し進めます。生まれたばかりの赤ちゃんとか。10歳、13歳であれば役に立つようなものが、生まれたての子供に必要だと思いません。そんなものは、ただの金儲けです。でも、ごちゃ混ぜはやめましょう。獣のしるしは、信者が気にすることではありません。なぜなら、ここにはいないからです。獣の印は、健康のためではありません。獣の印とは、特定の名前と特定の目的を持った印で、獣への忠誠と崇拝を示すためです。第二に、それがないと売買取引が出来ません。普通の生活が出来ません。一つの場所から他の場所へ移動することすらできません。これは予防接種ではありません。軍隊などの特定の集団に属していない限り、自国が予防接種を義務付けている特定の国に行かない限り、強制的に予防接種を受けることはありません。でも、予防接種を受けずに家にこもりたいなら、それはあなたの選択です。獣の印は選択の余地がありません。獣のしるしは、受けるのか？受けないのか？など、選択する贅沢は<sup>ぜいたく</sup>ありません。それを受けない者は、斬首されます。これは、別ものです。ありがたいことに、信者のためではありません。さて、率直に言いますが、仮に、私が旅をして神のみことばを教え、福音を宣べ伝え、失われた人や魂に届くために、コロナウイルスの予防接種を受ける必要があるならば、私は受けようと思います。なぜか？自分が、獣を崇拝しないと分かっているからです。私は、獣を見ることすらありません。大患難の心配もしていません。私のいのちの息が続く限りは、私は福音を宣べ伝えたいと思っています。さて、あなたが何を信じ、何を推し進めたいかは、あなたの選択です。私はそれで構いません。しかし、あらゆる些細な事を、全て獣の印と混ぜるのはやめてください。ほら、伝えたいことがあります。私の携帯を見ましたか？これは私の携帯電話です。私の携帯にはチップがあり、あなたの携帯にもチップがあります。私のクレジットカードには、チップが入っています。皆さんのクレジットカードにも、チップが入っています。私の携帯にチップが入っていて、私が妻に何かを言うたびに、次の日、フェイスブックに話したものの広告が具体的に表示されます。あなたの言うことが聞かれていないと、お思いですか？あなたの居場所が知られていないと思いますか？あなたの携帯電話は、あなたが今どこにいるかを皆に伝えています。この電話が粉々にならない限り、あなたを記録します。たとえオフにしているでも録音されてしまいます。伝えたいことがあります。予防接種の履歴を記録した、プレスレットを身につけさせられるかもしれません。よく分かりませんが。だからと言って、私は獣を崇拝しているわけではありません。私はそれを好むか？いいえ！私は断れるか？もちろんです、はい。でも、私が選ばなければならないなら・・・まあ、自分で検査して抗体がないことを確認すれ

ば、そして、私が行く方を選ぶなら、そして、もし飛行機に乗る為の条件があって、飛行機でフィリピン、日本、インドネシア、シンガポール、アメリカ、カナダ、ブラジルに行くのに、予防接種を受けないと、旅に出てみことばを教えることが出来ないなら、私は受けます。「ああ、あなたのすべてを知られてしまいますよ」彼らは、とっくにすべて知っています。そして私には、やましい事は何もありません。「追跡されますよ」もうとっくに追跡されていますよ。新世界秩序は、彼らが私を追跡するとか、追跡しないということではありません。もはやあなたの選択ではない、というところに突入するのです。もし、私が好きなものを読み、信じたいものを選ぶ特権があったとしたら、新世界秩序は、私が読むべきものを私に指示し、彼らが知らせたくないものは排除します。検閲です。少数の委員会に踊らされて、世界中の政府が、自国民の権利と自由を集団に手渡しています。だから、皆さん理解してください。予防接種の混乱は、信者にはあってはならないことです。それは、あなたの選択です。受けるか受けないかは、あなた次第です。私が言いたいのは、あなたは、反キリストに会うことはありません。あなたは、獣のしるしを身に受け取る必要は無いのです。ところで、信者として、あなたは思っているかも知れません。「ああ、私は予防接種は受けない」それで結構です。しかし、何億人もの人が受けるでしょう。そしてその、摂取した何億人もの人が、それで何の問題もないのを見て、そして私たちがいなくなったら、彼らは言うでしょう。「厄介払いだ。あの人たちが居なくなった！」そして、彼らはすでに、心理的に何らかの形で印を受ける訓練がされているのです。今はコロナウィルスの為、明日は、売買の為、翌日には、参拝のしるしになります。良いですか？私たちは、そこに居て獣を礼拝する事はありません。必要か、必要ないかは、あなた次第です。でも、一つだけ伝えたいことがあります。私は、ソーシャルメディアがない場所や、人々が教会に行かなければ聞けないような場所に飛行機で行って教えるためなら、何でもするつもりです。良いですか？言っておきますが、私はこの事務所の壁に囲まれて閉じこもるつもりはありません。アフリカに飛ぶなら、どちらにしても予防接種が必要なのです。南米の特定の場所に飛ぶなら、どちらにしても予防接種を受けないといけません。だから、これに「NO」と言ったところで、何が違うのでしょうか？私がビル・ゲイツの計画に、「イエス」と言うと思いますか？いいえ。普通の予防接種以外のものは入れさせません。ノー！しかし、私はあなたに言いたいことがあります。肝心なものを、他と一緒に捨ててはいけません。理解することが重要です。敵は、あなたがたを混乱させようとし、敵は全てを混ぜようとしているのです。そして、これはその一つです。本当に残念です。私は本当に悲しくなります。皆さんにお伝えしたいのですが、仮に、あなたに年配の親がいて、このワクチンが、老人を攻撃しているこの致命的なウイルスから、彼らを守るとすればどうしますか？獣の印を思い起こさせるから、予防接種をするなど言うのでしょうか？いいえ！現実的に考えましょう。皆さん、理解してください。問題は、ワクチンではありません。問題は、ワクチンが今後どうなっていくかです。すみません。将来、印はどうなるか？です。また、多くの偽情報、誤報、偽ニュース、フェイクニュースが出てくることも理解しておいてください。敵は喜んでます。彼は、ソーシャルメディアを通して、恐ろしい紛争を押し出し、あなたを混乱させています。だからこそ、私は最後にこれをお話したいと思ったのです。こういうものを見たときに、不安や恐怖や混乱に陥るのではなく、実際に微笑んでいなければなりません。実際に、世界に示さなければなりません。ほら、ここは、これから綺麗きれいにはなっていくません。政府がもはや独立して考える事をしない新世界秩序を、私は好きか？好きじゃありません。しかし私は、それが来るのを見たか？もちろん、私は見ました。かつて私が持っていた、自由が奪われて嬉しいか？マスクをつけると言われたり、この店には入れない、この学校には入れない、A,B,Cを遵守しないと、これはできない、あれもできないと言われて嬉しいか？気に入らないですね。でもここにあるのです。そして私は応じなければなりません。食料品の買い物もしなくてははいけないし、子供を学校に連れて行かなくてははいけないし、飛行機に乗ってAからBまで行かなくてははいけないし、あれもこれもしなくてははいけません。ごらん下さい。それは新しい世界であり、新世界秩序があります。そして私たちは、理解しなければなりません。確かに、最後まで戦わなければなりません。しかし、予防接種のために戦う必要はないのです。私たちは、福音のために戦わなければなりません。福音を説く必要があります。真実を共有する必要があります。最も重要なことに、エネルギーを費やしましょう。神の国のために実を結ぶのです。福音を説くどころか、一日中、予防接種についての雑談や、あれやこれやと雑談ばかりしています。ほら、福音を分かち合いましょ。神は私たちを祝福してくれました。ほら、私は人間の頭脳に取って代わる、この新技術が嫌いです。しかし、ありがたいことに、全世界がロックダウンされているにもかかわらず今、私は、大勢の人に向かって話すことができます。それは技術によるものです。だから、技術を利用して、地球上の私たちに残された、わずかな時間を利用してください。そして、皆さんに伝えたいことがあります。私は毎朝目を覚まして、それが現実であることを理解します。私は、イエス・キリストの時代以来、最も祝福された時代を生きています。あなたは、その時代を生きているんです。ご覧ください。イエスの世代は、その30年以下の期間に、それ以前のすべての世代を合わせたよりも、多くの預言が成就するのを見ました。預言者によって与えられた約束、約束、約束

があって、それが、一世紀になって、ボン、ボン、ボン、ボン、ボンと成就し始めました。1世紀の人たちは、なんと  
いう恵まれた世代でしょうか！それが2000年後の今、祝福された、もう一つの世代が来ています。イスラエルに関  
するすべての約束、エルサレムについてのすべての約束。ユダヤ人に関するすべての約束、すべて預言者によって約束  
されました。そして、私たちの世代は、バン、バン、バン、バンとすべてが起こるのを見ています。だから敵は、ハ  
リー・トルーマンや、ドナルド・トランプ、ネタニヤフ、そういった全てに激怒しているのです。彼らは、それらが起  
こるのを、止めたかったのです。しかし同じように、良い事も、預言者の言った通りに起こっています。また悪いこ  
とも、預言者の言った通りに起こっています。そして私が最後に確認した時には、オリーブ山の垂訓<sup>すいぐん</sup>は、有名なイエ  
スの預言的教えは、素晴らしい事ばかりではありませんでした。そして我々は見えています。だから、

これらのことが起こり始めたなら、からだをまっすぐにし、頭を上<sup>あ</sup>に上げなさい。贖<sup>あがな</sup>いが近づいたのです。  
(ルカ21:28)

そして、イチジクの木が芽吹くのを見たなら…イスラエルは故国に戻りました。夏が近いことが分かります。それ  
が、戸口に近づいています。そして、これを見ている世代は、決して滅びることがありません。その希望を、皆さん  
に与えたいのです。私たちは、滅びない世代です。だから私は、それを新世界秩序と呼んでも、気にしません。そし  
て私は、このウイルスもこの予防接種も、気にしません。私は気にしません。我々は新世界秩序が来る事を、知らな  
かったか？我々は、いずれ世界統一政府になる事を知らなかったのか？私たちは、彼らがそっちに行く事を知らな  
かったのか？それは、ここにあります。それなのに、なぜ私たちはこんなにも驚き、そんなに落ち込み、抑圧されて  
腹が立つのか？これらが起こり、これらがやって来る事は最初から分かっていたはずで、だから、皆さんを励まし  
たいのです。私達に与えられた約束を握り締めてください。彼は、もうすぐ来て、そして、私達を連れて行って  
くださいます。これはまさに、私が書いた本「The Last Hour」で、私が伝えたかった事です。なぜなら、私たちは本  
当に最後の時間を生きていると、私は信じていますから。そして著書「The Day Approaching」では、皆さん、ヘ  
ブル10章にある通り、"かの日が近づいているのを見て"います。これらの本には、どれも神の約束とその成就が満載  
です。だから、私はすべての人を励ましたいのです。世に、主の喜びと信仰を破壊されるようなことは、しないで  
ください。それと強さと平安。特にこの最後の日、私達に必要です。救われたいなら、新しい命が欲しいなら、新し  
い心が欲しいなら、天国に行きたければ、に属したいのであれば、携拳<sup>けん</sup>に与りたいなら、ならば、イエス、イエ  
シュアを信じる必要があります。唯一の道、唯一の真理、唯一のいのちです。彼を通してでなければ、だれひとり父のみ  
もとに行けません。あなたは、自分が罪人であることを、告白しなければなりません。自分自身を救うことは出来な  
いと、認めなければなりません。あなたの心を完全に主に捧げ、そしてイエスを心に招き入れてください。そうす  
れば、聖霊があなたの内に入り、あなたは新しい創造物となるでしょう。そして、本当に非常に近い内に、私達は連  
れ出されます。そして大衆は滅び、エゼキエルの戦争が起こります。反キリストが平和を導入し、エルサレムに神殿  
が建てられる。しかし彼はそれを破り、神殿から君臨し、ユダヤ人の三分の一が逃げ生き残る一方で、三分の二は滅  
びます。そして、彼は彼らを連れ戻し、彼は、私達と共に戻って来られます。彼らは、自分達が突き刺した方を見て、  
理解します。そして、その7年後、主は反キリストと偽預言者、そして蛇、全て、底無しの穴へ投げ入れます。そして  
千年の間、世はサタンのいない世界になって、そして私たちは、イエスの下、エルサレムから統治します。そして最  
後に、彼らは、ほんの数週間から数ヶ月の間解き放たれそして、彼は出て行って、再び諸国を欺きます。そして、彼  
らは愛された者たちに敵対します。それから主は、サタンを、ついに永遠に滅ぼされます。大いなる白い裁きの御座  
があって、そして新しいエルサレムが来ます。そして信者だけ、ユダヤ人と異邦人だけが、この素晴らしいものの一  
部になるのです。彼はすべてのものを新しくされます。新しい天と新しい地。私は、この世に何もありません。私が  
ここに居る理由はただ一つ。人々に伝えるためです。唯一の道がある事を。もし新しいエルサレムに住みたいなら、  
それは唯一、私たちの愛するメシアへの信仰によるのみです。

お父様、あなたに感謝し、あなたを祝福します。これを見る人、そして、これを一人でも多くの人にシェアされる人々  
を感謝します。それがあなたの御国のために実を結ぶことを祈ります。目が開かれ、心が変わられますように。私  
たちの人生の中で、あなたがしてくださった事、あなたがこれからされる事に感謝します。素晴らしい約束をありが  
とうございます。あなたはもうすぐ来て、私達をこの世界から連れ出してください。イエスを送ってください、  
場所を用意してくださっていることを感謝します。そして、彼は来て、私達を彼のいる場所に連れて行ってくださ  
います。私達はあなたの御名を祝福し、私達はイエスの御名によってこれをお祈りします。



主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。  
(民数記6:24-26/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。  
(民数記6:24-26/英語)

イエスの御名において。  
アーメン。アーメン。

と言う事で、皆さんに感謝します。私たちをフォローする方法をご覧ください。www.BeholdIsrael.orgでニュースレターを登録してください。ツイッターや、フェイスブックとインスタグラムで、「BeholdIsrael」是非、ご連絡をお待ちしております。私たちは皆さんに奉仕したいと思っています。ご連絡をお待ちしております。また、あなたのために祈っています。毎週、特定の国向けに、Zoom Q&Aをすることにしました。そうすれば私からも顔を見ることができるので、そこで質問していただきます。今回はフィリピンから始めようと思います。来週の土曜日、マニラ時間の午後5時。今週リンクをお送りします。その後、南アフリカに移動し、英国に行って、はるばるヨーロッパ、アメリカなどに移動します。ありがとうございます。神の祝福がありますように。

イスラエルのガリラヤから、  
シャローム。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.05.27 (Wed)